



6月号

赤目まちづくり通信

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター) 〒518-0465名張市赤目町丈六238-1

E-mail: akame-ko@emachi-nabari.jp

TEL & FAX: 63-0329

まちづくり委員会年間事業のお知らせ

赤目まちづくり委員会 会長 藤村純子
野山の緑も深みが帯びてきました。平素は、まちづくりの各事業に対しご協力・ご支援を賜りお礼申し上げます。

さて令和5年度まちづくり委員会各部の年間予定が出来ましたので、お知らせいたします。年間を通し、各事業に参加頂きます様、お願いいたします。なお、部会によっては、日程の決まっていないものも有りますが、今後紙面にて連絡させていただきますので、ご理解ください。

青少年育成部会 (部長: 富森康宏)	忍たま広場	毎月第水曜日
	あかめフェスティバル	11/3
	凧づくり(小学4年生授業として)	11/8
	凧揚げ大会 赤ちゃん訪問・等	1/8
地域活動部会 (部長: 松生明久)	赤目夏まつり	8/5
	みんなの運動会	11/11
	ふるさとウォーク in あかめ ソフトボールリーグ・等	令和6年3/16
防犯防災部会 (部長: 濱地俊宏)	名張市防災訓練	11/18
	年末特別警戒	12/29
	防犯防災研修年2回予定・等	
環境部会 (部長: 堀内宏則)	名張クリーン作戦協力	6/4
	ごみ捨て抑止看板の設置・作成等	
地域振興推進部会 (部長: 水谷孝昭)	ゆめ広場草刈り	6/11・9/24・12/10 予定
	旅ステ草刈・ペンキ塗り・植栽	6/19・6/21・7/24・11/19
	日の谷温泉整備	8/7
	忠魂碑剪定 旅ステ研修・等	11/19 or 26 予定
健康福祉部 (部長: 大森一彦)	出前健康教室	偶数月 丈六・相楽・新川・一ノ井・長坂、他各区で実施
	ELP 健康講座	8/16・2/21
民生児童委員会部 (部長: 森嶋秀和)	サンサンカレー	偶数月第3木曜日
	ひとり暮らし高齢者の集い	11/2
	歳末訪問・他各部会活動に参画	
区長会部 (部長: 山路憲一)	ひとり暮らし高齢者の集い	11/2
	歳末訪問・他各部会活動に参画	

市民センターの催し・活動は次号でご紹介いたします。

三重県森林ボランティア研修実施

三重県緑化推進協会(萩原純担当)主催の森林ボランティア研修交流会を21日、赤目市民センターで開催。伊賀地域や四日市市、紀北町などから約40人が参加。

市民センターで、名張市美旗の「美旗春日の森」(福永義行代表)が事例発表。

続いて、柏原城址に移動して、あかめ里山文化保全会(宮本篤代表・旧まちづくり環境部長)が取り組みを発表。活動内容の報告と共に「地域の人と共に環境保全に努める事が、何よりも喜びに感じられる」と思いを述べた。

また、伊賀忍者と柏原城址について、三重大学産学官連携アドバイザー・加藤進氏の特別講演や昼から工芸室での、竹あかりSDGsプロジェクト後援で竹あかりの制作体験も実施。



各サークルのご紹介

今回より市民センターで、活動されているサークルさんのご紹介をさせていただきます。まずは、健康体操関連のグループ5組。(写真は2022年度分です。)

- ①健康体操ホップコーン 毎週金曜日 13:30 ~ 14:30
- ②真向法体操の会 第1・3火曜日 9:30 ~ 11:30
- ③自彊術あかめ 毎週火曜日 10:00 ~ 12:00
- ④健康づくりマッシュマロクラブ 毎週木曜日 10:00 ~ 11:30
- ⑤気功サークル 第1・3火曜日 13:30 ~ 15:00(不定期) 開催日に連絡の上、見学ください。 ☎63-0329 市民センター



詳細は、工芸室に掲示していますので、ご参照ください。

柏原ふれ愛サロン「ひまわり」開催

5月25日(木)10時より柏原福祉会館で、赤目駐在所(田中裕人さん・ご夫婦)、名張市包括支援センター、赤目まちの保健室の皆さんの協力で開催。駐在所ご夫婦による特殊サギの注意点や寸劇、また、包括支援センター並びにまちの保健室より、リフレイル予防についての話と体操実施。「笑いながらのひと時でしたが、いい勉強になりました。」...など。(参加者の声)



＜お知らせ＞ 「赤目まちの保健室」より

熱中症にご用心!!

6月といえば、梅雨の時期から気を付けて欲しいのが、熱中症・脱水です。梅雨の時期は気付かないうちに熱中症になっていることがあります。身体が暑さに順応しにくいこの時期から夏に向けて「熱中症」に注意しましょう!

*熱中症とは?

高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態。また、そのために現れる様々な症状の総称です。

*熱中症かな?と思ったら...

- ①日差しを避けて涼しい場所へ! 衣服は緩める(安静に)
- ②エアコン・扇風機をつける! うちわで仰ぐのもOK!(体に風を送り冷やします。)
- ③首、脇の下、足の付け根を冷やす!(太い血管が通っており、身体を冷やすのに効果的です!)
- ④水分(経口補水液・スポーツドリンク等)少しずつ何度も飲ませる!

△熱中症は屋内でも起こります!

- ・節電ともいわれていますが、命を守る行動をとりましょう!!
- ・エアコンの準備は済んでいますか? リモコンの電池切れはないか? エアコンが作動するか確認しておきましょう!
- ・エアコンは28℃設定で! 室内は28℃以上にならないようにしましょう。バランスのとれた食事と水分補給で、熱中症に気を付けて元気に夏を迎えましょう!

皆様の情報をお寄せください。

いただいた情報は、取材を進めて、記事やWebサイトなどで紹介させていただきます。(内容は、リライト・一部加筆訂正致します。)

赤目まちづくり委員会
赤目市民センター
ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報がホームページでご覧いただけます。
※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。

ご参加をお待ちしています。

ヒメボタル観賞会 No. 2

日本固有種の金ボタルを鑑賞しませんか。



ヒメボタル(金蛍)は陸生のホタルで、オスは飛翔しますが、メスは後翅が退化し飛びません。発光は、鋭く強く光り、金黄色を帯びます。見られる所、時期が少なく、貴重なホタルです。

日時 / 7月8日(土)22時00分~24時00分
 集合場所 / 赤目観光ハウス駐車場(赤目町長坂 650-5)
 蛍を鑑賞するのは、赤目滝入口付近の山林です。(川ではありません)
 講師 / 吉岡正夫さん
 注意事項 / 歩きやすい服装、懐中電灯持参(直接蛍に向けないで下さい。)
 ホタルを捕まえないでください。幼児・小学生は、保護者同伴で。
 *申込み / 6月30日(金)までに、赤目市民センターへお申し込みください。

電話 / 63-0329
 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

※ 気候・時期により見られない場合があります。

名張ケンコー!マイレージポイント対象

(天候等、状況により中止・自由観賞になる場合があります。ご注意ください。)

6月10日(土)19時30分、赤目市民センター(集合)開催の「源氏ボタル観賞会①」にも、ご参加ください。連絡 63-0329まで。

6月5日~7月2日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
6/5	6	7	8	9	10 ホタル観賞会①	11
12	13	14 ふれあいサロン 市民センター消 火避難訓練	15 サンサンカレー	16	17	18
19	20 丈六出前健康 教室	21	22	23	24	25
26	27 	28 忍たま広場 ふれあいサロン	29	30	7/1	2

<お知らせ>

※6月28日(水)10時からの「赤目忍たま広場」は、七夕笹飾りの製作とブラックライトシアターを開催。たくさんのご参加をお待ちしています。

7月の行事予定

- ★7/8(土)ヒメボタル観賞会②
- ★7/12(水)ふれあいサロン
- ★7/22(土)市民大学講座
- ★7/26(水)忍たま広場・ふれあいサロン



< クリーンスタッフ募集 >

- ・赤目口駅前公衆トイレの清掃
- ・男女、年齢不問
- ・毎日/1日2回(朝夕)所要時間は、40~45分程度。
1ヶ月ごとの交代制
1回の清掃につき600円 ※交通費の支給はありません。
- ・面接等詳細は、赤目市民センターにお問い合わせください。
赤目まちづくり委員会 電話63-0329

Vol.41 新・歴史散策紀行…「伊賀・赤目文化遺産」

赤目のむかし話 Part.9

勝運生地蔵(しょうけじぞう)さん(丈六)

「おばーちゃん、おばーちゃん。おばーちゃんの足痛そうやな。おばあちゃんの痛い足、なおしてあげるわ。おばあちゃんは足痛いさかいに、かまへんでな、うちの人に四日間だけ参ってもらったらええんやわ。」

おばあちゃんの枕元に、地蔵さんが現れていったのですや。この地蔵さん、どこかで見覚えがあるのや。「さあて、どこの地蔵さんやろかな。」と考えたのやが、その夜は、思い出せなかったのや。おばあさんの足は、二、三日前から痛くて、立つこともできなかつたので、このまま床についたきりになると思い込んでいたのや。翌日、目が覚めたら、枕元に現れた地蔵さんは、もういなかた。「わしゃ、夢を見ていたのかいな。それにしても、不思議な夢やったなあ。」おばあさんは、少し気になったのやが、相変わらず、足がうずいて痛くてしょうがなかつた。その夜、昨夜のお地蔵さんがまた現れてな。(中略)

翌日、目が覚めてから、おじいさんに夢に出てきたお地蔵さんの話をしたのやわ。「それは、きっと丈六橋の近くのショウケ(勝運生)地蔵さんやで。ショウケ地蔵さんやったら足をなおしてくれるはずや。」「そうかもしれへん。あの地蔵さんは、どこかで見覚えがあると思ってたんやが、ショウケ地蔵さんやったんやわ」おじいさんは、さっそくショウケ地蔵さんにお参りに行くことにしたのや。そして、長年連れ添ったおばあさんのためやと、毎日お参りにいったのや。す

ると、四日目の朝になったら、足の痛みが大分なくなってしもうた。そして五日目の朝になったら、足の痛みがすっかりなくなってしもうた。元気に歩けるようになってしもうた。諦めていた足がなおったので、嬉しくてしょうがなかつた。「おばあさんや。よかったのう。地蔵さんがほんまになおしてくれるなんて…」おじいさんは、半信半疑で参っていたらしく、おばあさん以上にびっくりしたのや。「元気になったら、お礼にわらじをお供えせなあかんのう。」と言って、わらじを作つてな。二人でお供えに行きましたのやわ。

この勝運生地蔵さんはショウブイケの地蔵とも呼ばれておりましてな。村人が仲良く平和に暮らせるように願って、むかしに建てられたそうやわ。それが不思議なことに、足の病気をなおしてもらった人がたくさんでな。その話が広まって遠くからもやってきてな、地蔵さんと自分の足を交互に手でさわって、「どうか私の足が良くなりますように。」とか「どうぞうちのおじいちゃんの足がなおりますように。」と言ってお願いすればなおしてくれるのやわ。

また不思議なことに、勝運生地蔵さんが立っている付近の田は病虫害や鳥害も少なくてな。どこよりも米の収穫が多いそうや。これも勝運生地蔵さんのお蔭やと感謝し、家内円満、村人皆仲良く、互いに助け合い、健康で笑って暮らしてありましてな。それに村にはお笑会(おわらいかい)という会もあって、みな愉快地日々を送っておりますんや。この地蔵には顔がないのやが、むかし、かわいそうなことに、悪い侍に切られてしもうたといわれてありますんやわ。< 話・山村志へさん明治31(1898)年生まれ 藤森茂男さん明治31(1898)年生まれ > (平成25年発行「赤目のむかし話」より引用・写真提供 寺嶋喜代様)



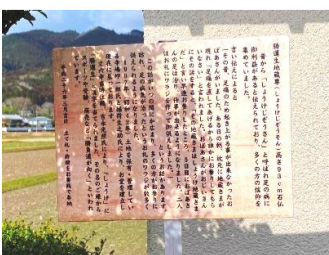
イラストイメージ



祠の全景



正面より



紹介の立て札



情報誌youで紹介



赤目のパワースポットに